

1/35 アメリカ中戦車 M4A3E8 シャーマン "イージーエイト"

**組み立てを始める前にお読みください**

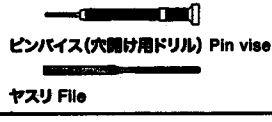
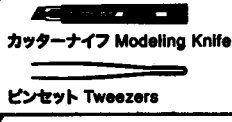
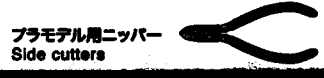
- この説明書は1/35アメリカ中戦車M4A3E8 シャーマン "イージーエイト" [35-020] の組立説明書です。組み立て、塗装とマーキングは別紙の塗装説明書もご覧ください。組み立て始める前に同紙に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分ご注意ください。
  - 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
  - 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
  - 成形品には全型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
  - 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

**READ BEFORE BUILD**

- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

＜取材協力＞  
 陸上自衛隊富士学校 ・パッケージ原画：奥村英二

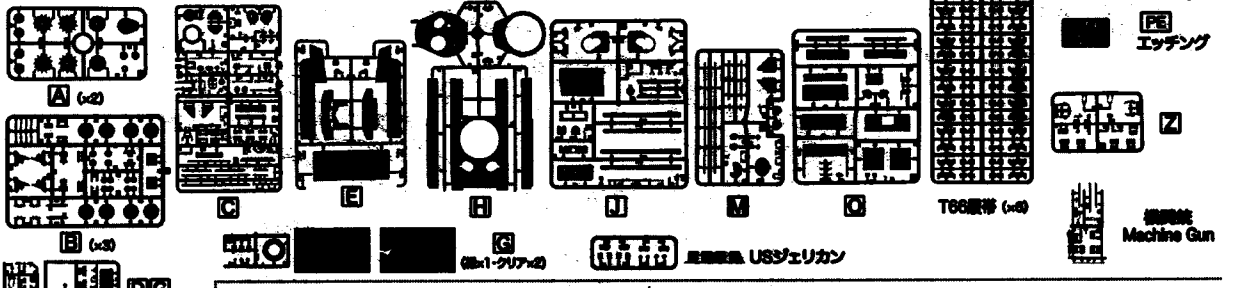
**用意する工具 Recommended Tools**



- ＜その他＞
- プラモデル用接着剤 Cement
  - プラモデル用塗料 Paint
  - 瞬間接着剤 superglue
  - …などが必要となります。

**キット内容 Parts Contents**

組み立てを始める前に、内容をお確かめください。



- その他
- デカール.....1枚
  - 塗装ガイド.....1枚
  - 組立説明書(本誌).....1枚
  - Decal.....1piece
  - Paint Guide.....1piece
  - Instruction sheet.....1piece

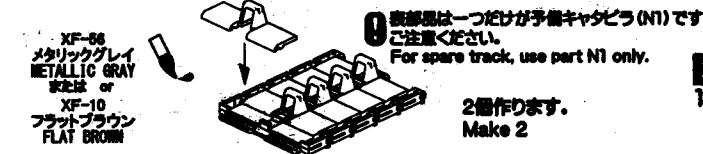
○不要パーツ not used

|       |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 11~15 | 18 | 19 | 23 | 25 | 28 | 30 | 31 | 34 | 35 | 39 | 42 | 44 | 48 | 51 | 58 | 60 | 68 | 73 | 75 |
| 8     | 13 | 10 |    | 2  | 4  |    | 4  | 13 | 15 | 16 |    | 3  | 5  | 7  | 8  | 15 | 23 | 24 |    |
|       |    |    |    |    |    |    | 1  |    |    |    | 22 | 29 |    |    |    |    |    |    | 1  |

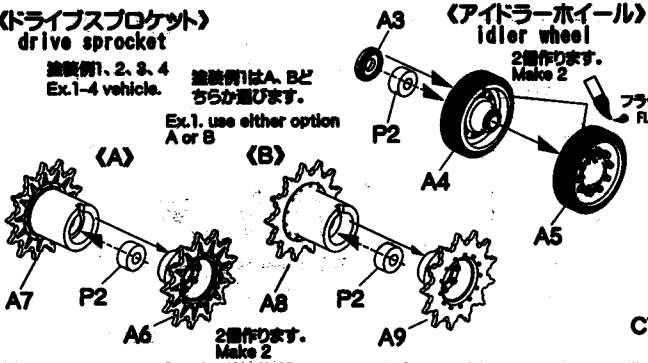
**1 キャタピラの組立 Track assembly**

キャタピラは全部で77コマが標準ですが、はじめに76コマまで集めておきます。可動部分に接着剤が付かないように注意します。接着部分が凸起していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。  
 Standard track length is 77 links. For this section make two 76 link tracks. Connecting central link in section 13. Note avoid applying cement to moving parts.

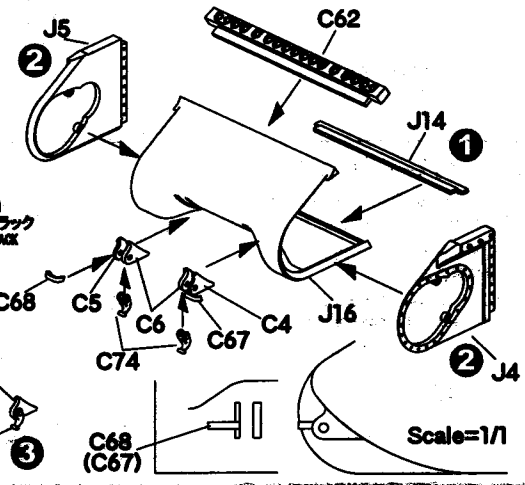
XF-62  
 オリーブドラブ OLIVE DRAB  
 組立途中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。  
 Where color is not specified please use OLIVE DRAB.



**2 ドライブプロケットとアイドラーホイールの組立 Drive sprocket and idler wheel assembly**

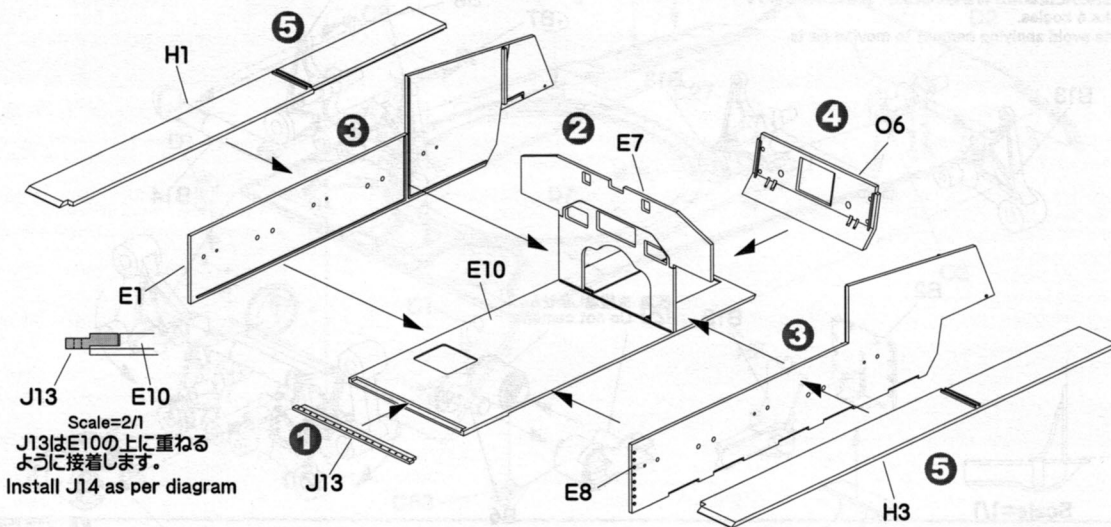


**3 テフレンシャルカバーの組立 1 piece type differential cover assembly below**

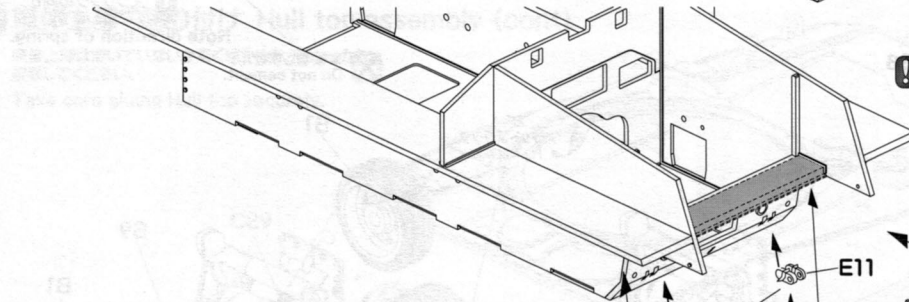


# 4 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から⑥の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。  
部品の仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。  
この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。  
Assemble steps ① to ⑥ in sequence. This assembly should be performed without interruption.

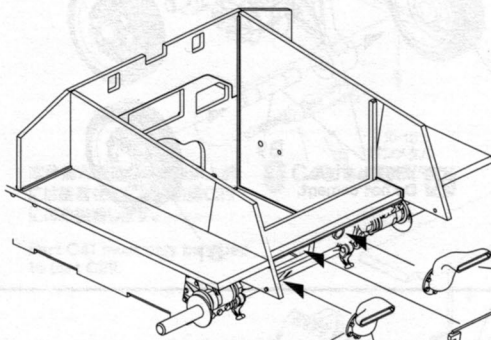


Scale=2/1  
J13はE10の上に重ねるように接着します。  
Install J14 as per diagram



① アイドラーホイール基部 (M12)はキャタピラを取り付けるときに回転させてテンションを調節できるようにするため接着しません。  
When installing track, turn idler base (M12) to adjust tension in the track.

※接着しません。  
Do not cement.



② O14は下側から取付けます。  
Install O14 from the bottom.

※接着しません。  
Do not cement.

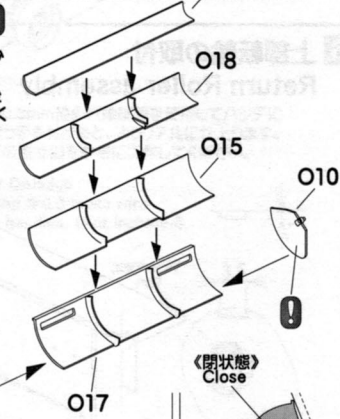


XF-10  
フラットブラウン  
FLAT BROWN

ティフレクターは最初に接着剤を少しだけつけて全体を仮組みします。左右でズレがないことを確認した後慎重に流し込み接着剤で固定してください。

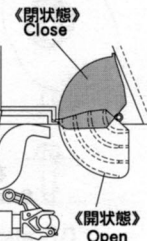
Please dry fit Deflector parts before cementing. When verified there are no gaps please cement.

《ティフレクター》  
deflector



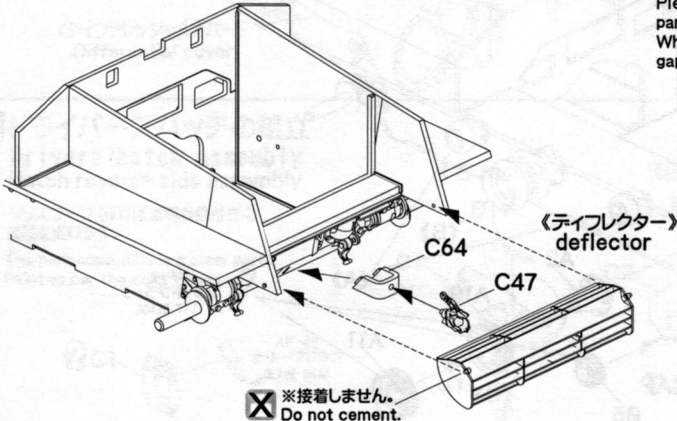
③ 左右に注意します。  
Note left and right.

Scale=1/1



《閉状態》  
Close

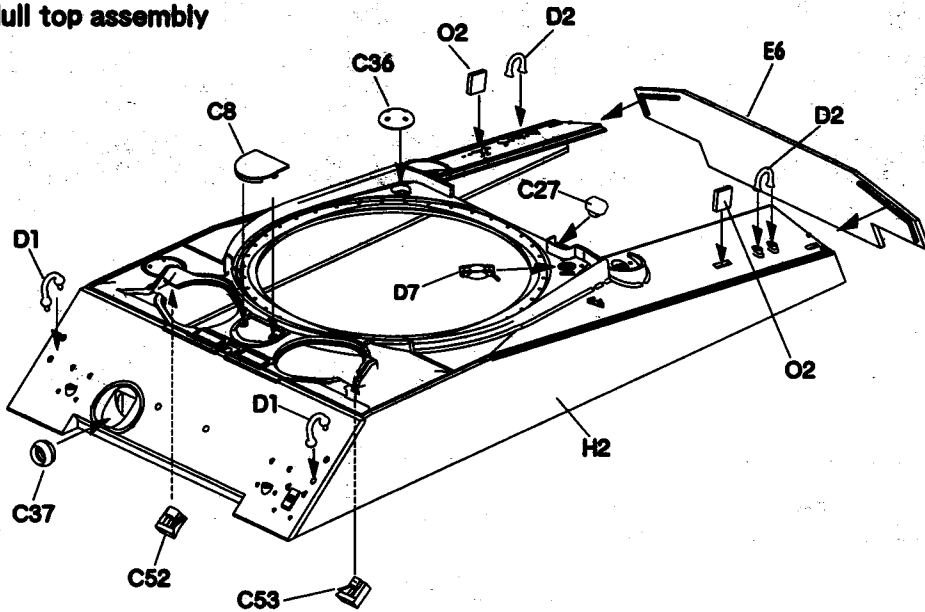
《開状態》  
Open



※接着しません。  
Do not cement.

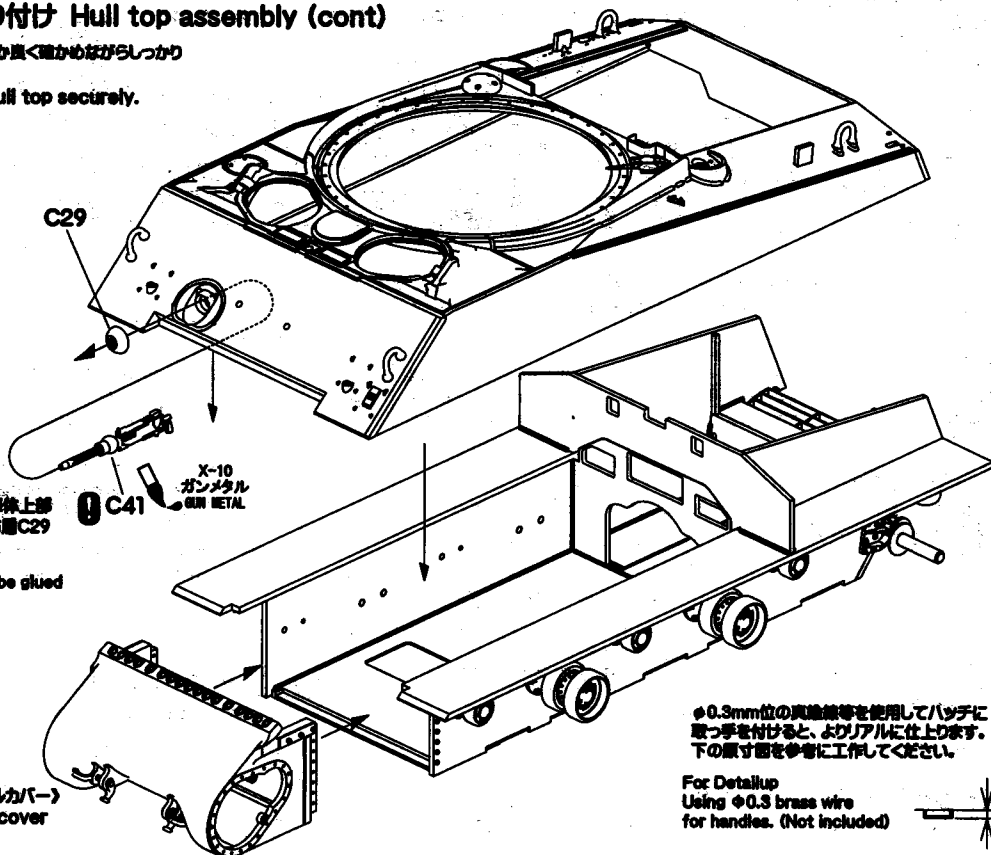


## 7 車体上部の組立 Hull top assembly



## 8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

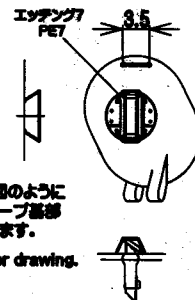
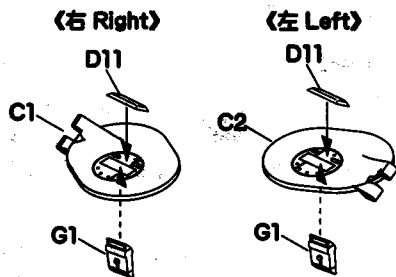
車体上部は濡いていないかよく確かめながらしっかり  
接着してください。  
Take care gluing Hull top securely.



## 9 ドライバースハッチの組立

### Drivers hatch assembly Hatch reverse side assembly

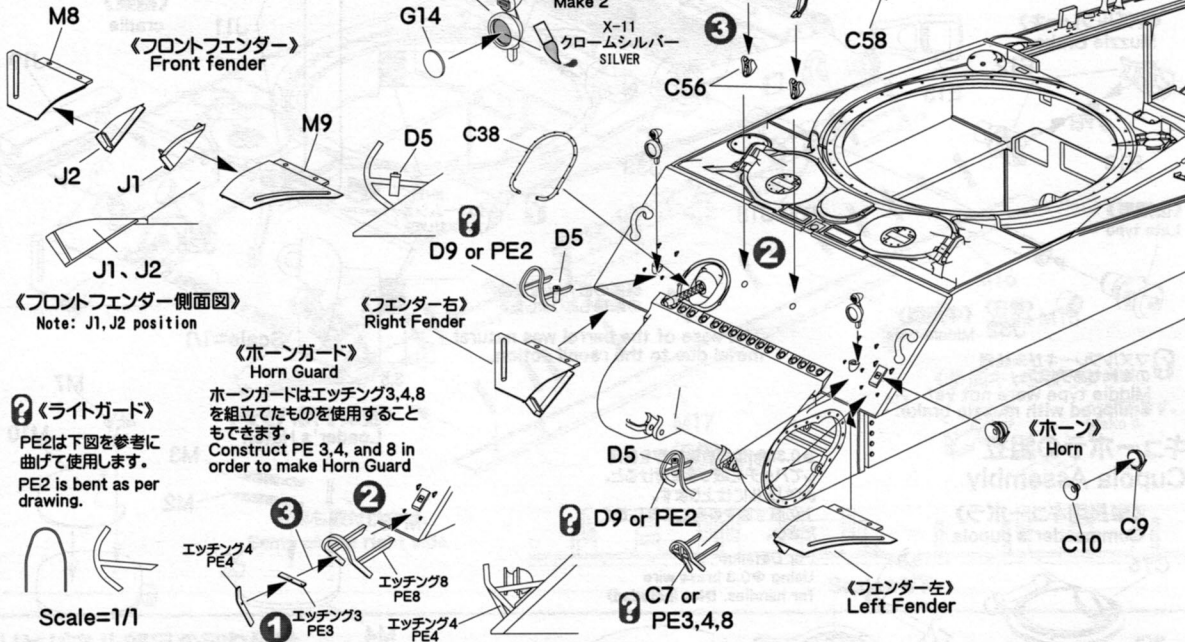
ペリスコープ(G1)は透明か色付きの  
部品を覆ひます。  
The periscope (G1) is a clear part.  
Paint as per the color annex



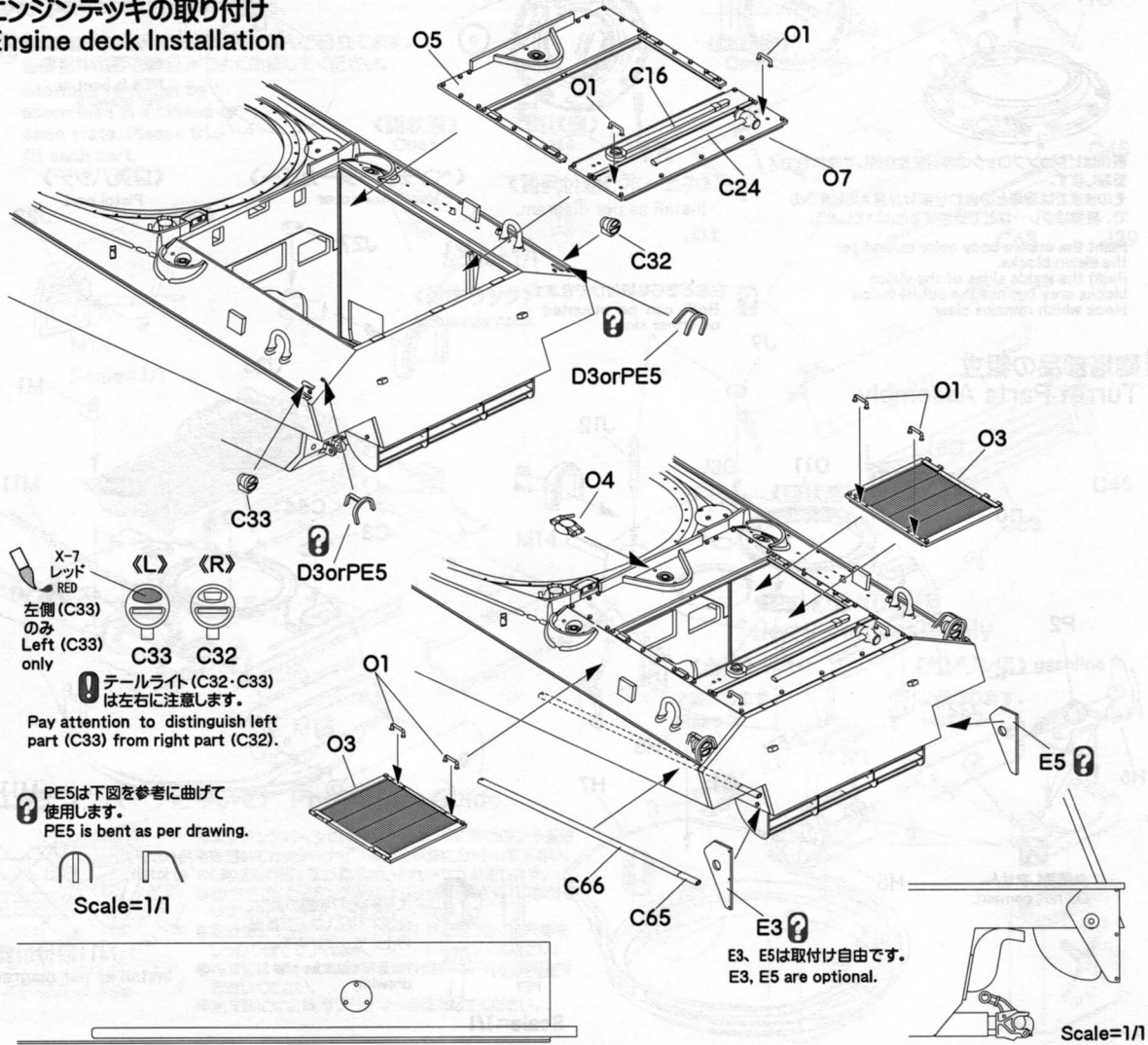
Scale=1/1



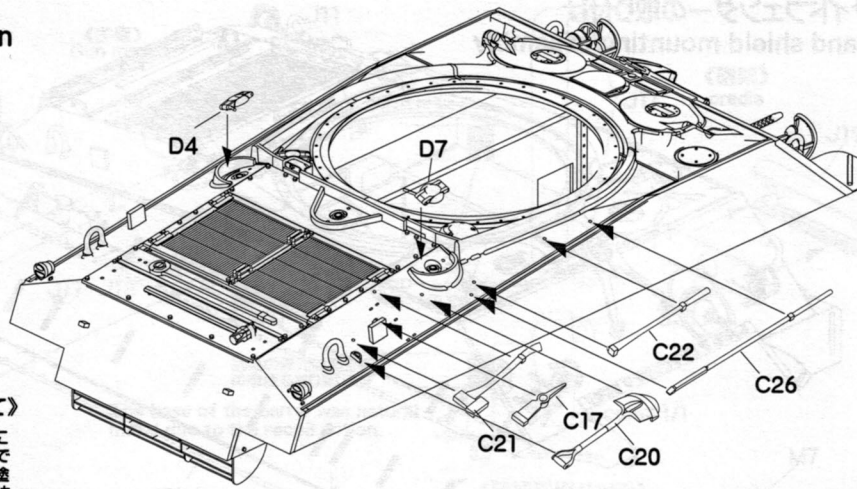
## 10 車体上部部品の取り付け Hull upper part installation



## 11 エンジンテッキの取り付け Engine deck installation



## 12 車体右側部品の取り付け Hull right side installation

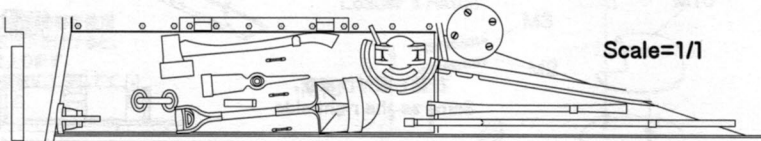


### 《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色はげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

### Hull Accessories Painting Guide

American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

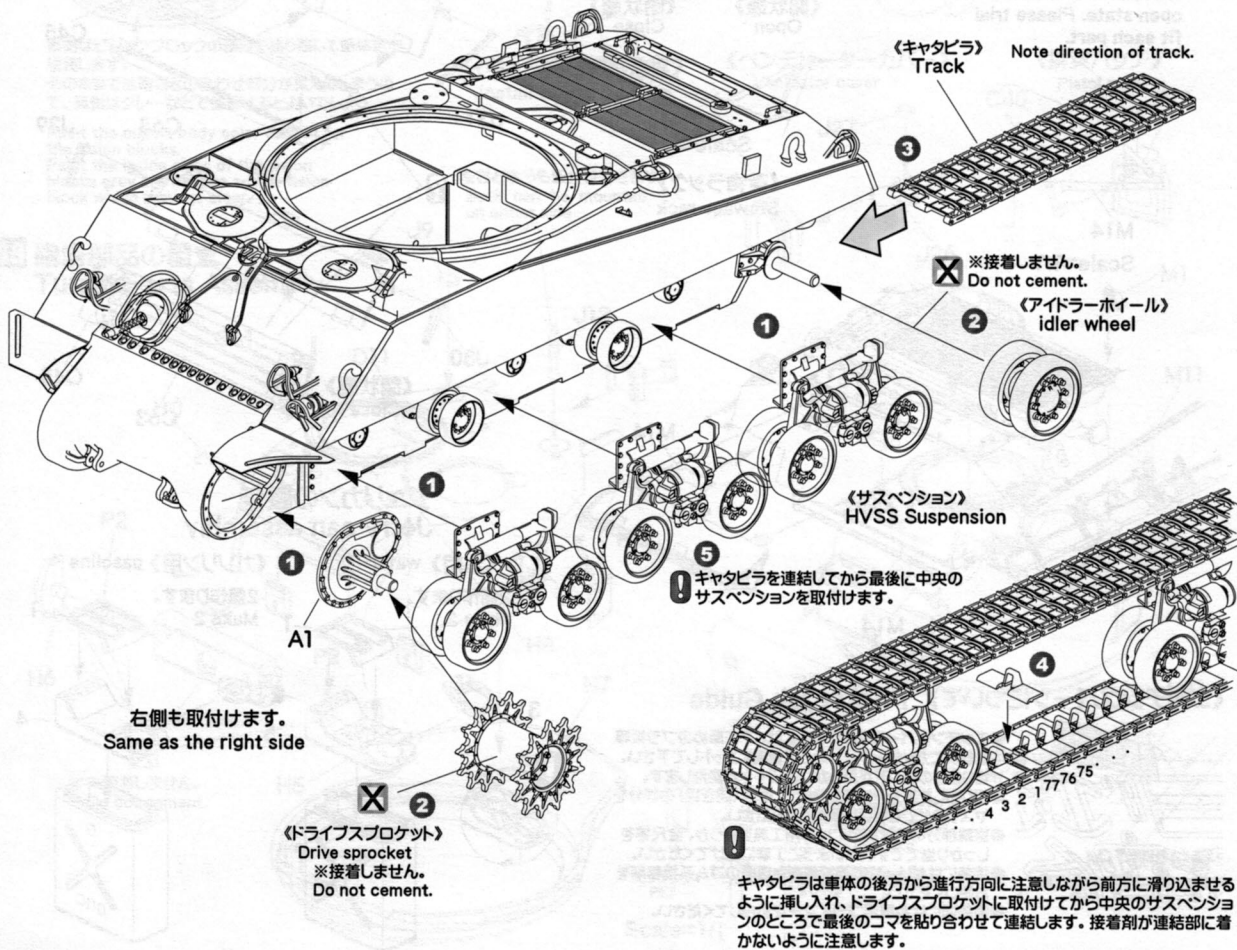


## 13 キャタピラの取り付け HVSS Suspension

車体にファイナルドライブ (A1) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドラーホイールを取付けてからキャタピラを連結し、アイドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。

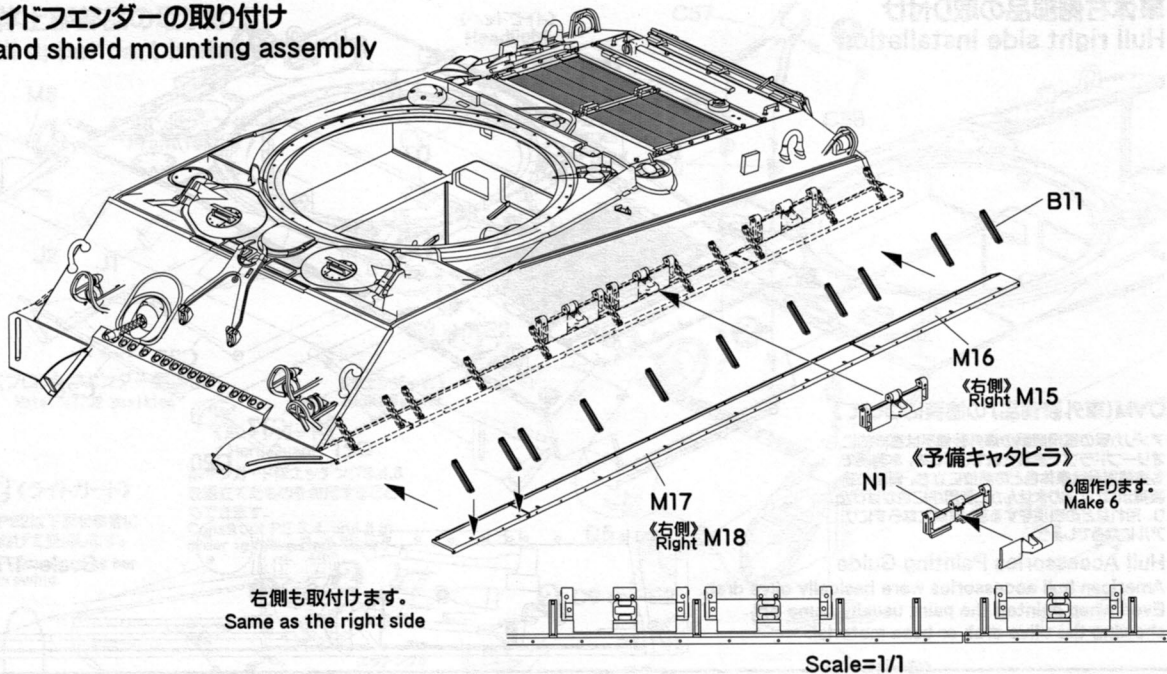
### 《Assemble steps 1 to 6》

1. Install A1 and front and rear bogies. Allow cement to dry.
2. Install drive sprocket and idler wheel.
3. Wrap track around drive sprocket and idler wheel from rear direction.
4. Insert last track link from the inside and take care of fit. Last link install position should be in front of central bogie as per diagram.
5. Attach central bogie after installing track.
6. Turn idler base (M12) to adjust tension in the track.



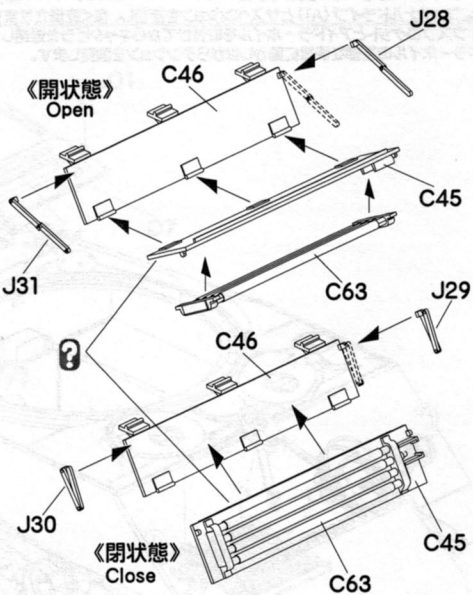
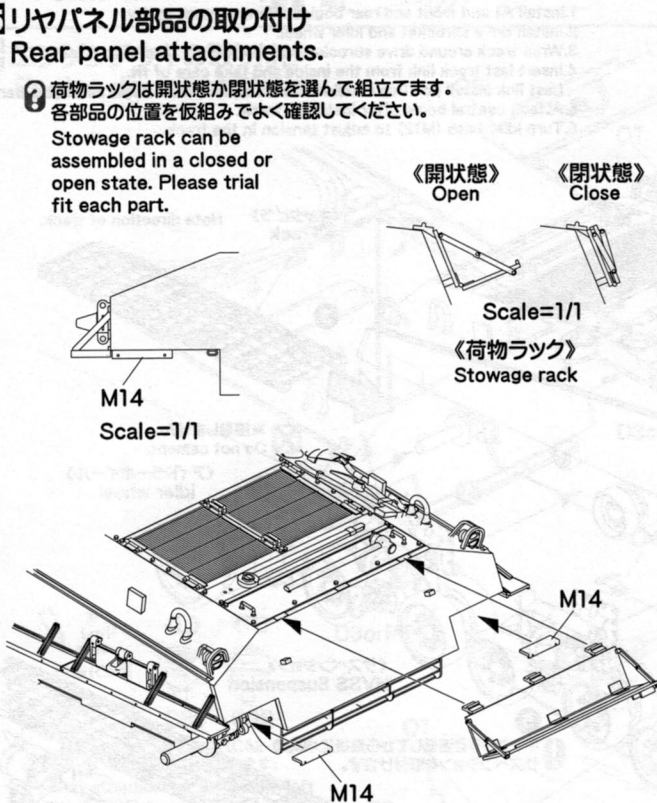
0 キャタピラは車体の後方から進行方向に注意しながら前方に滑り込ませるように挿し入れ、ドライブスプロケットに取付けてから中央のサスペンションのところで最後のコマを貼り合わせて連結します。接着剤が連結部に着かないように注意します。

**14 サイドフェンダーの取り付け**  
Sand shield mounting assembly

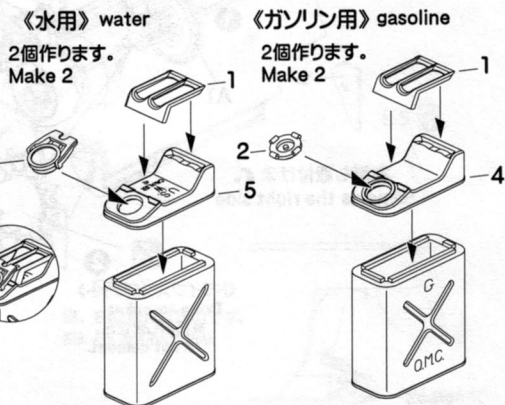


**15 リヤパネル部品の取り付け**  
Rear panel attachments.

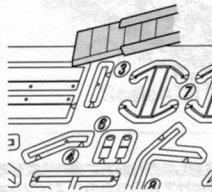
荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立てます。  
各部品的位置を仮組みでよく確認してください。  
Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.



**ジェリカンの製作**  
Jerry can assembly



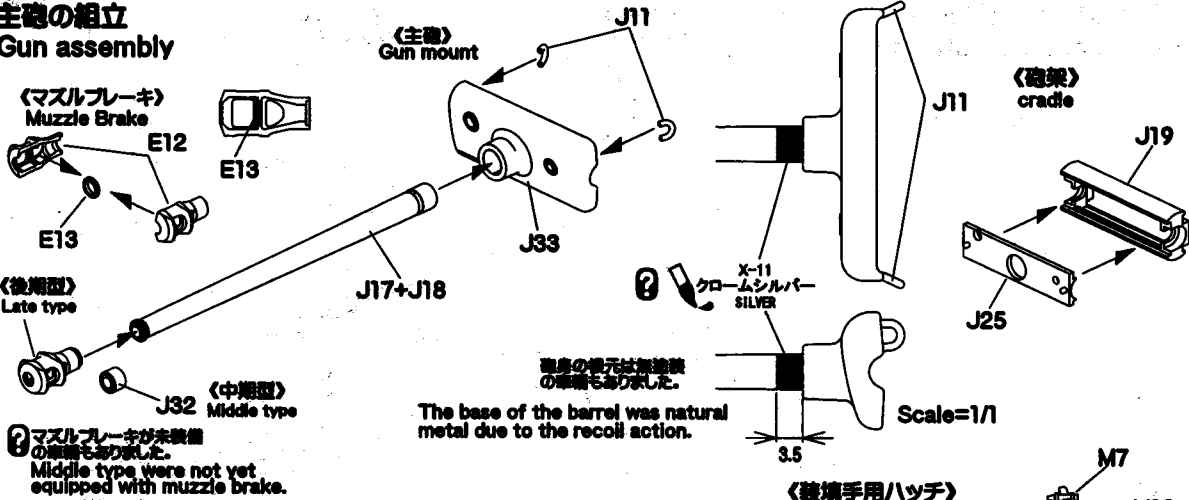
《エッチングパーツについて》 Photoetch Guide



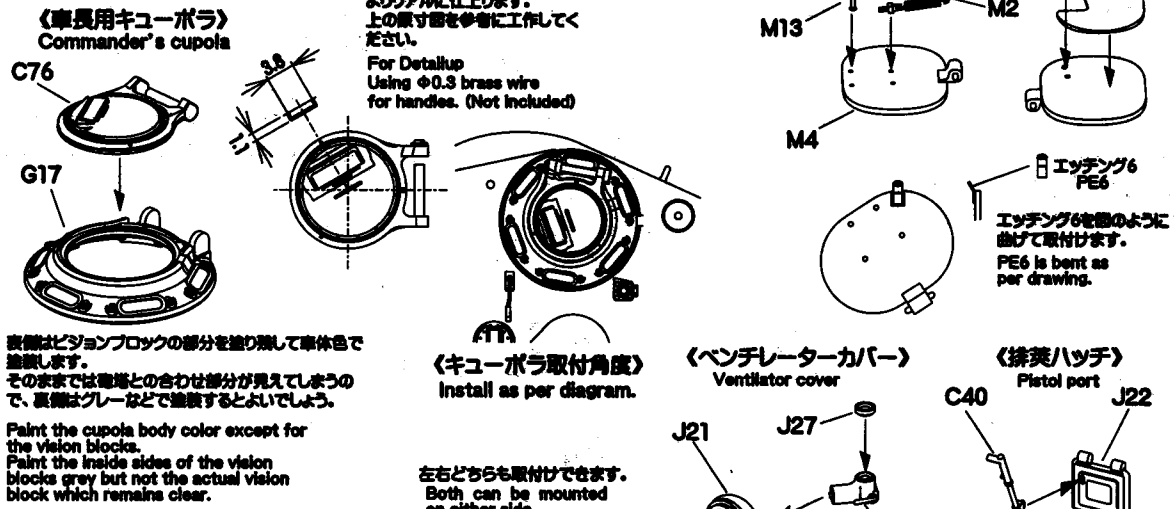
- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(紫き目)の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げてください。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤が透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布してください。



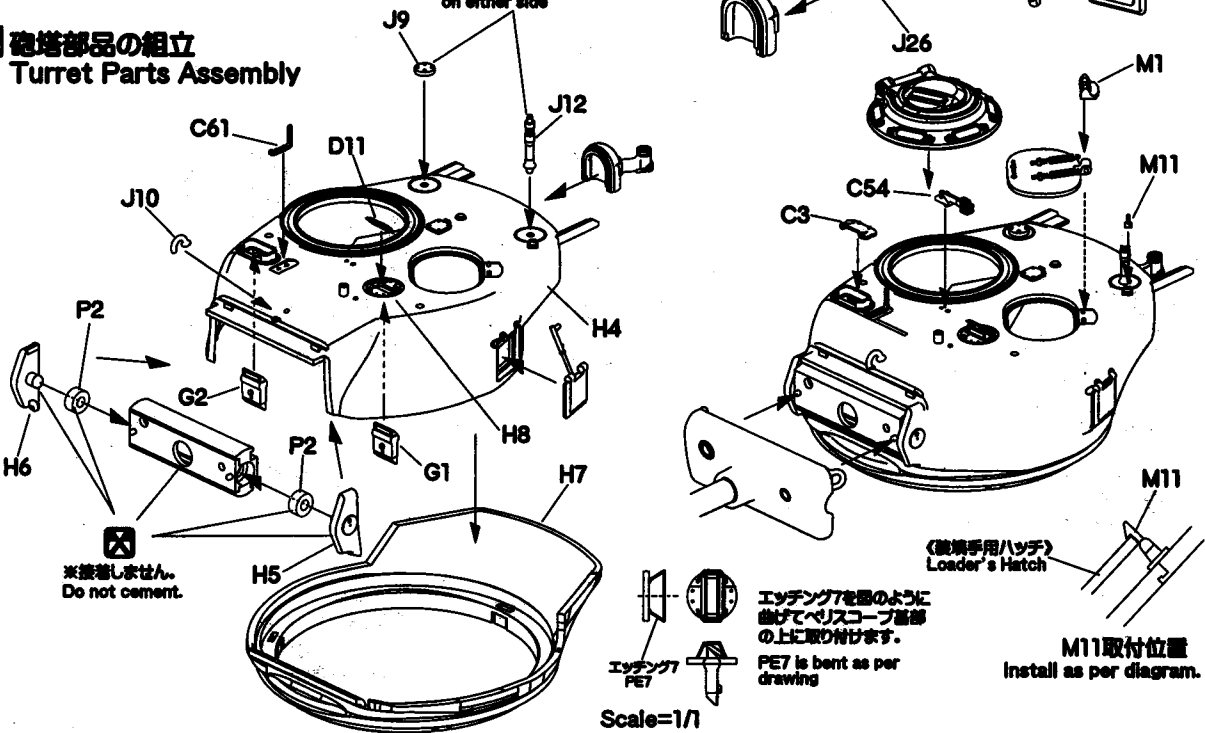
**16 主砲の組立**  
Gun assembly



**17 キューポラの組立**  
Cupola Assembly



**18 砲塔部品の組立**  
Turret Parts Assembly





# 19 M2重機関銃の組立 M2 Machine Gun Assembly

このページでは砲塔上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。  
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。  
This page instruction assembles M2 machine gun.

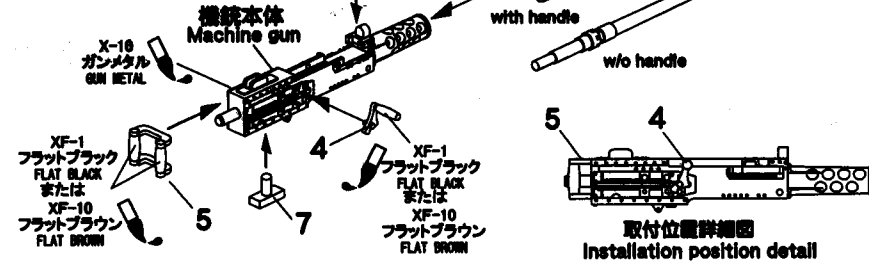
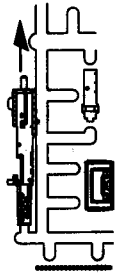
## A 機銃本体の組立 Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。  
Pull the machine gun itself from the runner.

ゲートの跡を整形します。  
Gate mark fairing stripe

② どちらか選びます。  
Choose one

② どちらか選びます。  
Choose one

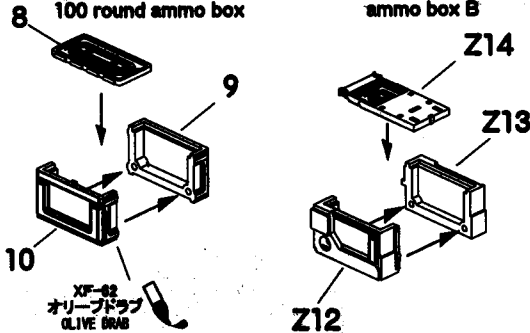


取付位置詳細図  
Installation position detail

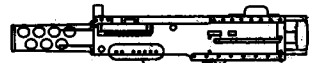
## B 弾薬箱の組立 Ammunition box assembly

〈100発用弾薬箱〉  
100 round ammo box

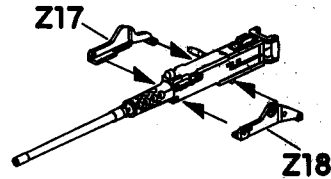
〈弾薬箱B〉  
ammo box B



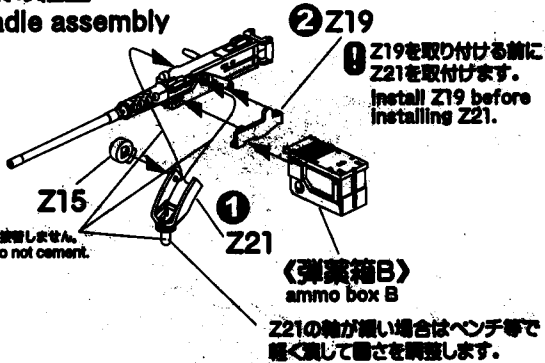
## C 揺架の取付 Cradle installation.



揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。  
Shave off rivet pattern.

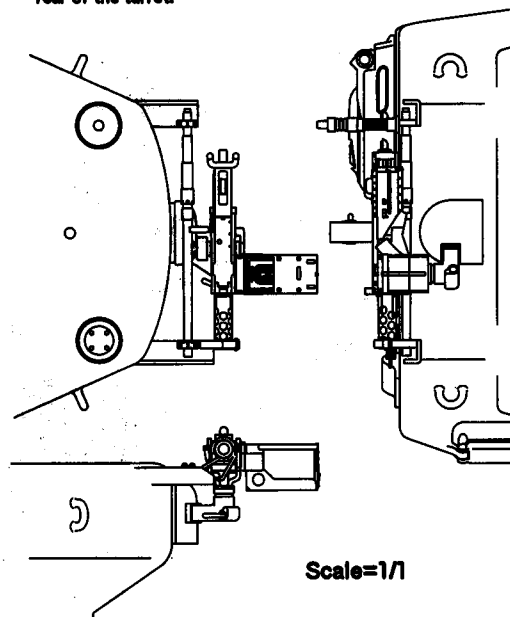


## D 揺架の組立 Cradle assembly



### 〈参考〉 Reference

機銃は備かな工作で砲塔後部に収納することもできます。  
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.



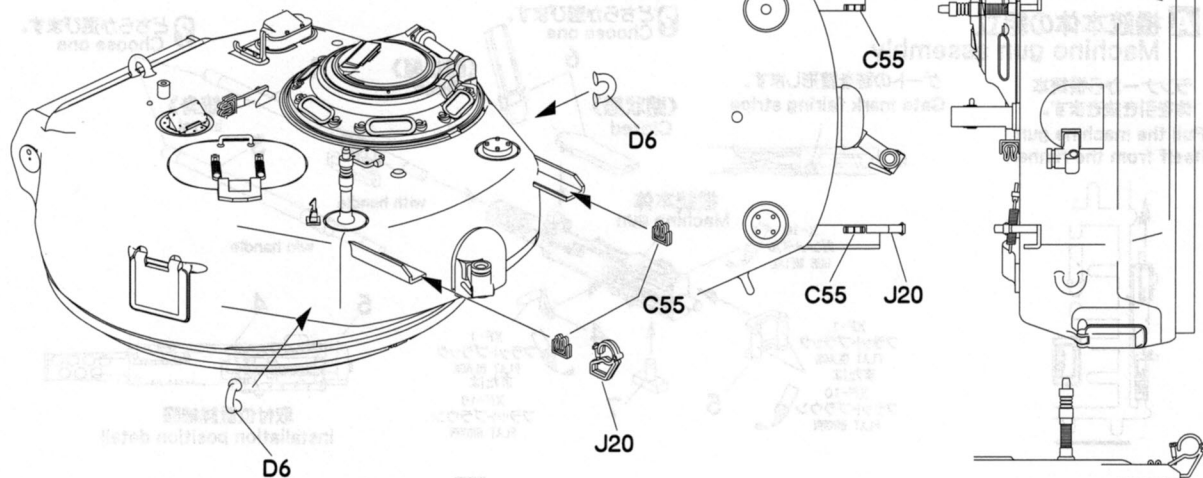
Scale=1/1

〈予備銃身〉 本体から取り外した状態で使用する  
Spare barrel  
Please note spare barrel differs from the main barrel

Z21の軸が緩い場合はペンチ等で軽く潰して剛さを調整します。  
If Z21 axis is loose adjust the stiffness by crushing lightly with pliers

弾帯はお湯に濡けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。  
Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

**20 砲塔後部の組み立て**  
Assembling the rear turret



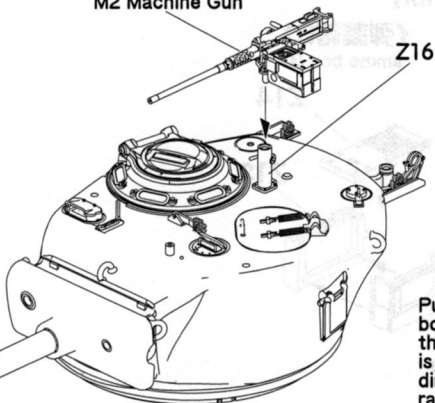
**21 M4A3E8の完成**  
M4A3E8 Completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。  
360度どの方向からも着脱が可能です。  
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。  
車体前面のフェンダーの間に荷物受けとして板などを取り付けている例があります。下の原寸図を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよいでしょう。  
なおガソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭載しないのでご注意ください。

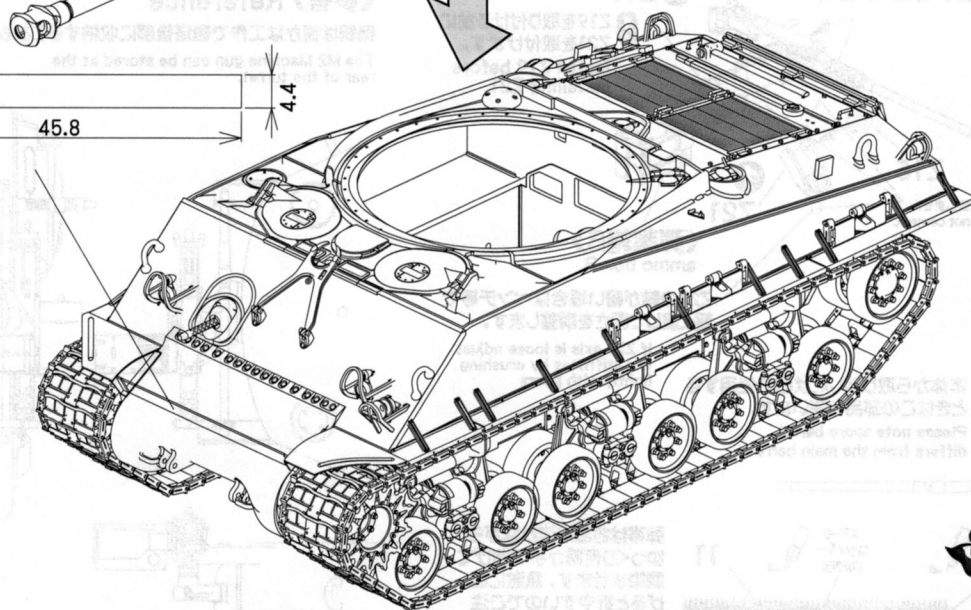
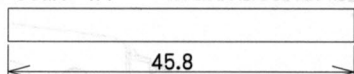
The boards between the fenders in front of the body are examples of storage facilities being installed. You can construct this yourself with 0.5 mm boards by referring to the drawing below.

《M2重機関銃》  
M2 Machine Gun



Push the turret horizontally to the body. The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.

Scale=1/1



メール / FAX での受付

(Mail) [info@asukamodel.com](mailto:info@asukamodel.com)  
FAX. 054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

〒422-8027 静岡県駿河区豊田 3-5-30  
有限会社 アスカモデル 部品請求係



**ASUKA**  
MODEL

有限会社アスカモデル  
[asukamodel.com](http://asukamodel.com)

1/35 アメリカ中戦車 M4A3E8 シャーマン“イージーエイト”

M4A3E8シャーマン“イージーエイト”について

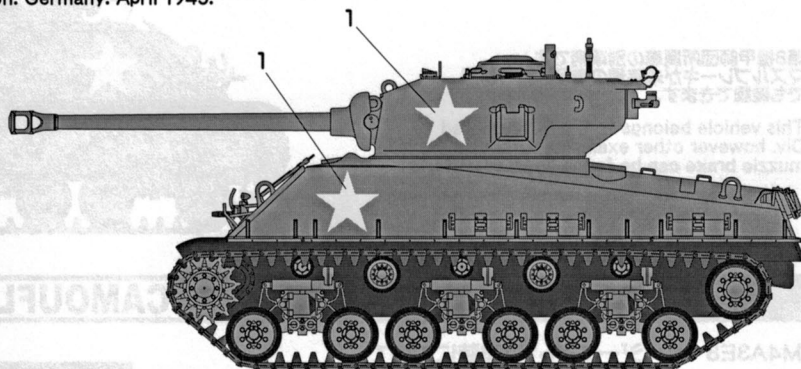
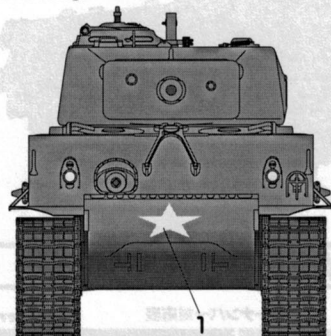
1942年から量産に入ったM4シャーマンはアメリカの工業生産力を生かし、大戦の後半においても連合軍の主力戦車として実戦に投入されてきましたが、ドイツ軍が強力なパンターやティーガーを投入してくると、ノルマンティイ陸作戦以降はその対戦車戦闘能力に限界があることが明らかとなってきました。このため主砲をそれまでの75mm砲から対戦車戦闘能力に優れた76mm砲を搭載し、容積を拡大した新型砲塔が採用されました。M4A3の新型車体に76mm砲を搭載したM4A3(76)Wは1944年9月に北西ヨーロッパ戦線に登場しましたが、初期のM4シャーマンから重量が2t近く増加し、路外での機動性に支障をきたす恐れが出てきました。こうした問題を解決するため、キャタピラの幅をそれまでの16.5インチ(42cm)から23インチ(58.4cm)に拡大し、ホイールを複列配置とした新型サスペンションが採用されました。このサスペンションはそれまでの垂直懸架サスペンション(VVSS)に

対スプリングが横置きに改められたため水平懸架サスペンション(HVSS)と呼ばれました。HVSSを採用したM4A3は正式にはM4A3(76)HVSSと呼ばれましたが、HVSS装備のシャーマンの開発名のE8から一般にM4A3E8“イージーエイト”の通称で呼ばれました。M4A3E8は1944年8月から量産に入り、1944年12月のバルジの戦いでドイツ軍の包囲下にあったバストーニュの開放に向かった第4機甲師団の車輛が最初に実戦に投入されました。初期のM4A3E8はシングルピン型のT66キャタピラを採用していましたが、耐久性の問題から程なくダブルピン型のT80に変更されました。第二次大戦中のM4A3E8の多くがこのT66キャタピラを使用しています。M4A3E8は1945年9月までに2539輛が生産され、ヨーロッパでの最後の勝利に貢献したほか、第二次大戦後も朝鮮戦争において国連軍戦車部隊の一翼として奮戦し続けたのです。

**塗装例 1**

第5機甲師団 1945年4月 ドイツ国内  
 5th Armored Division, Germany, April 1945.

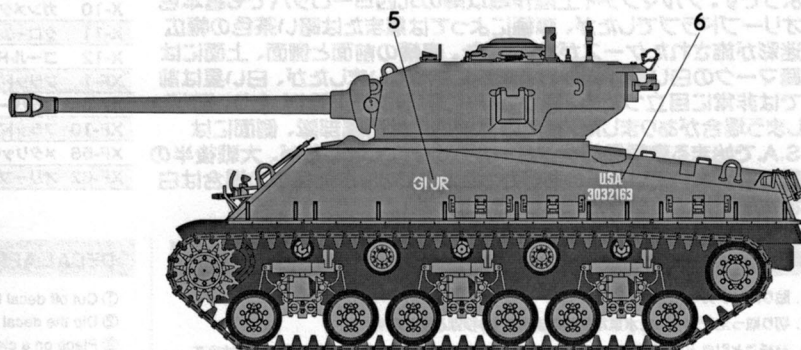
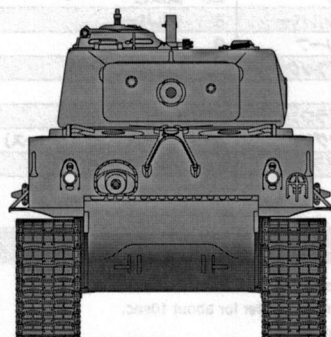
Marking Ex. 1.



**塗装例 2**

第2機甲師団 第66戦車大隊 1945年2月 ベルギー・トゥーヴェン  
 66th Tank Battalion, 2nd Armored Division, Teuven, Belgium, February 1945.

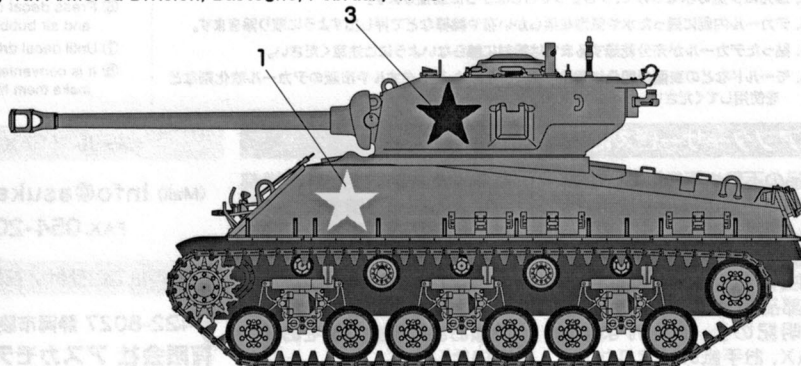
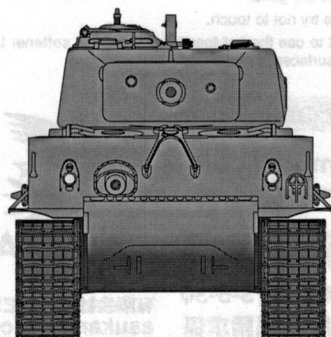
Marking Ex. 2.



**塗装例 3**

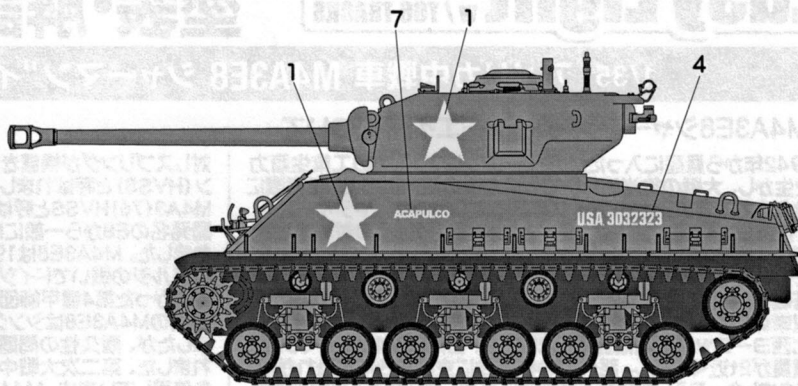
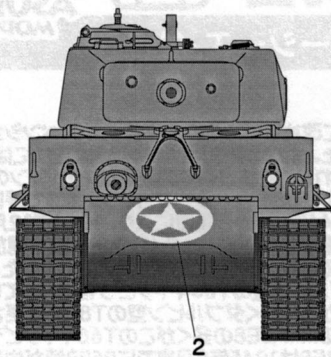
第4機甲師団 第35戦車大隊 1945年2月 ベルギー・バストーニュ  
 35th Tank Battalion, 4th Armored Division, Bastogne, February 1945.

Marking Ex. 3.





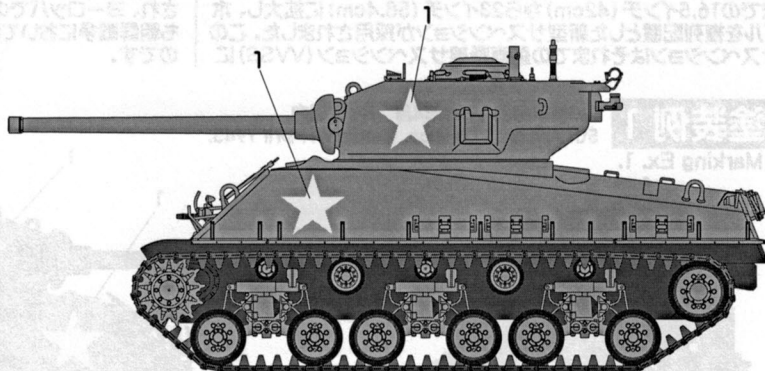
**塗装例 4-A** 第8機甲師団 1945年3月 ドイツ・キルヒェレン  
8th Armored Division, Kirchhellen, Germany, March 1945.  
Marking Ex. 4.



**塗装例 4-B** 第8機甲師団  
8th Armored Division  
参考例  
Marking Ex. 4.

第8機甲師団所属車の別車輛です。  
マズルブレーキが未装備の車輛は他の部隊  
でも確認できます。

This vehicle belongs to the 8th Armored  
Div. however other examples without  
muzzle brake can be found in other units.



**塗装とマーキング**

**CAMOUFLAGE & MARKING**

■M4A3E8 “イージーエイト”の塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。ノルマンディ上陸作戦以降の北西ヨーロッパでも基本色はオリーブドラブでしたが、車輛によっては黒または暗い茶色の幅広い迷彩が施されたケースがありました。車輛の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合がありました。また車体前面には所属部隊、側面にはU.S.A.で始まる車輛登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輛では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

カラーナンバー対応表

\*近似色です

| タミヤカラー<br>TAMIYA COLOR | GSI クレオス・Mr.カラー<br>GSI Creos・Mr.COLOR |
|------------------------|---------------------------------------|
| X-7 レッド                | 3 レッド                                 |
| X-10 ガンメタル             | 28 黒鉄色                                |
| X-11 クロムシルバー           | 8 シルバー                                |
| X-12 ゴールドリーフ           | 9 ゴールド                                |
| XF-1 フラットブラック          | 33 つや消しブラック                           |
| XF-6 コッパー              | 10 カッパー                               |
| XF-10 フラットブラウン         | 131 赤褐色                               |
| XF-56 メタリックグレイ         | 28+30 (黒鉄色+フラットベース)                   |
| XF-62 オリーブドラブ          | 38 オリーブドラブ2                           |

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせませす。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

DECAL APPLICATION

- ① Cut off decal from sheet.
- ② Dip the decal in tepid water for about 10sec.
- ③ Place on a clean cloth.
- ④ Hold the backing sheet edge and slide decal on to the model.
- ⑤ Move decal into position by wetting decal with finger.
- ⑥ Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.
- ⑦ Until decal dries try not to touch.
- ⑧ It is convenient to use the hot towel and the decal softener to make them fit surfaces of parts.

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、  
無償で正規の部品を送付させ  
ていただきます。  
お手数ですが、お客様のお名前、  
ご住所、電話番号、商品名、不  
足部品の名称(番号)、数量  
を明記の上、メールまたはご  
FAX、お手紙のいずれかでご

請求ください。またお客様部  
合による部品ご請求につい  
ては、実費で部品をお付け  
してあります。右記連絡方法  
のいずれかでご連絡いただ  
ければ、弊社から送料を含め  
た金額および送金方法をお知  
させていただきます。

メール / FAX での受付

(Mail) [info@asukamodel.com](mailto:info@asukamodel.com)  
FAX. 054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

〒422-8027 静岡県駿河区豊田 3-5-30  
有限会社 アスカモデル 部品請求係



**ASUKA  
MODEL**

有限会社アスカモデル  
asukamodel.com